

2024年
令和6年
4月号

広報 たっこ

「にんにく」を愛し続けて60年

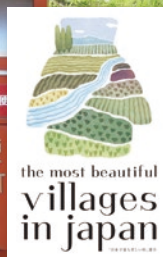
今年度は、町内でにんにく生産が開始されて60周年を迎えた記念の年です。2月29日（4年に1度の「にんにく」の日）、たっこにんにく生産60周年記念式典が行われました。詳しくは3ページをご覧ください。



[CONTENTS]

- 今月の話題…………… 2
田子町が「ふるさとづくり大賞」地方自治体表彰を受賞
たっこにんにく生産60周年記念式典
- トピックス…………… 4
田子町文化賞・スポーツ賞表彰 ほか
- お知らせ…………… 7

- 公民館情報…………… 10
令和6年度行事予定
- 図書館情報…………… 11
もうすぐ春です。「心」と「体」を整えましょう！
- 情報スクランブル…………… 12
み 学校の話 田子中学校 ほか



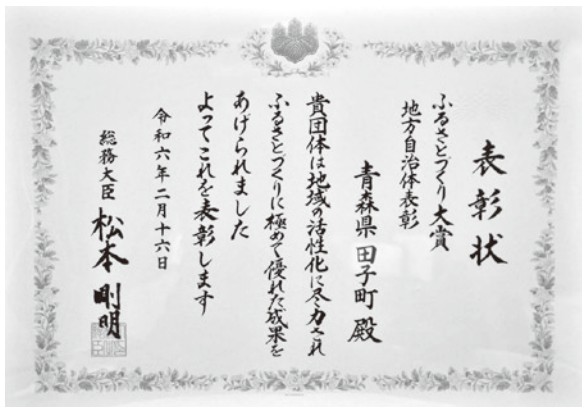
日本一「にんにく」にこだわったまちづくり

田子町が「ふるさとづくり大賞」地方自治体表彰を受賞

総務省では、豊かで活力ある地域社会の構築に向けて、地域活性化に積極的に取り組む団体や個人を対象に「ふるさとづくり大賞」を贈っています。この度、田子町が「令和5年度ふるさとづくり大賞」で、地方自治体表彰（総務大臣表彰）を受賞しました。

今回の受賞は、「にんにく」にこだわったまちづくりにより、にんにくの生産から加工、ブランド化による他品種との差別化、にんにく関連イベントの開催、にんにくがつかない海外姉妹都市との交流、ご当地グルメ開発など、町を挙げての取り組みにより町民が一体となり更なる活動へと展開している点が高く評価されたものです。

2023年、田子町はにんにく生産を開始して60年、出稼ぎからの脱却を目指し新たな換金作物として、当時の町農協青年部の有志十数名がにんにくの種子を購入し、町内でのにんにく栽培の普及を開始しました。1970年には67戸の農家により「にんにく生産部会」が発足され、その後、作付け農家の急増とともに価格が急落する中、出荷基準の厳格化により、1975年には東



京市場から品質・量ともに日本一の評価を得ました。2006年には「たっこにんにく」が東北初の地域団体商標登録を受け、2017年には町独自の品種「たっこ1号」を開発し国に登録されました。

また、にんにく生産のほか、町中に「にんにく」モチーフのモニュメントを設置したり、世界のにんにく産地との姉妹都市交流、にんにく3大イベントの開催（にんにくとべごまつり、にんにく収穫祭、たっこにんにくまつり）、オリジナルご当地グルメ「田子ガールズご当地グルメ「田子ガールズステッキごはん」の開発など、田子町は「日本一『にんにく』にこだわっている町」としてまちづくりに取り組んできました。

町長が出席し、馬場成志総務副大臣から表彰状を受け取りました。

令和5年度ふるさとづくり大賞表彰式



馬場総務副大臣から表彰状を受け取る山本町長

山本町長は、今回の受賞にあたり「まずはこの受賞を町民の皆様とともに喜びたいと思います。今回の受賞はにんにく生産だけではなく、国際交流など、これまで当町が進めてきたさまざまな取り組みが認められたという意味で、大きな賞だと思っています。そして、将来に向かってまちづくりを進めていくための大きなきっかけになると期待しています。

今回の受賞を契機として、町民の皆様がさらに意欲的になり、そして健やかに、生きがいをもって暮らしていくことができるような、まちづくりを進めていきたいと思えます」と語りました。



TAKKO GARLIC
60th ANNIVERSARY

にんにくを通じた地域活性化を誓う たっごにんにく生産60周年記念式典

たっごにんにく生産60周年を記念して、2月29日（「にんにくの日」、中央公民館で60周年記念事業実行委員会（新井田文雄委員長）主催による記念式典が

行われました。にんにく産業功労者の表彰や講演会、にんにく生産者によるパネルディスカッションが行われ、町内のにんにく生産者をはじめ、関係者など約80人が出席しました。にんにく産業功労者表彰では、これまでのにんにく生産に関連する取り組みをたたえ、功労者3名、感謝状13名、激励13名に表彰状

が授与されました。講演会は、弘前大学の高田晃准教授、八戸工業大学の片山裕美講師のお二人を講師に迎え、にんにくの低環境負荷型栽培法の開発（線虫忌避防除）について、にんにくと栽培ほ場に含まれる土壌成分の関連性について、それぞれ講演が行われ

行われました。東京農業大学の山下一夫客員研究員が「コーデイネーターを務め、にんにく生産において特に気を付けていること、労働人口の減少対策として取り組んでいるSNSを活用した消費者との交流による作業体験の受入れ、農福連携の実践などについて、パネルご自身が取り組んでいる内容が紹介されました。式典の最後には、「たっごにんにく生産70周年に向けて」と題した生産者の決意書を出席者が唱和し、生産70周年に向けて、にんにくを通じた更なる地域活性化を誓いました。

たっごにんにくまつり



2月24日、農業者トレーニングセンターで第17回たっごにんにくまつりが行

われました。これは、にんにくまつり実行委員会（木谷健悦委員長）の主催によるもので、約2300名の方が来場しました。

会場では、「山菜入り田子牛すじ鍋」や「にんにくたっぷり高菜かやき」などの田子の鍋や、さまざまな調理品、加工品の出店が並びました。また、「NINNIKU料理オンリー1グランプリ」と題し、たっごにんにくをふんだんに使った一品料理の販売と人気投票が行われ、どの出店にも長蛇の列ができていました。

ステージでは、ガーリックレディコンテストや、たっごにんにくに関する〇×クイズが行われるなど、来場者はたっごにんにくを満喫した1日となりました。

ガーリックレディコンテスト

◎コンテストの結果

▽ガーリックレディ

葛川唯さん（田子町・写真中央）

▽準ガーリックレディ

田畑向日葵さん（三戸町・写真左）

一二三華月さん（八戸市・写真右）



NINNIKU料理オンリー1 グランプリ2024

町内をはじめ、八戸市や二戸市から出店した計4店舗がそれぞれのオリジナルにんにく料理を販売し人気を競いました。グランプリ店は来場者のメダルの投票で決められ、鉄板焼き処来（二戸市）の「短角牛すじのそばめし」（写真）がグランプリに輝きました。



有功者表彰



講演会



生産者パネルディスカッション



更なる飛躍を誓いタッココーラで乾杯

次に行われた生産者パネルディスカッションでは、町内のにんにく生産者4名がパネラーとして壇上に上がり「にんにく栽培60年の技術と未来への可能性」をテーマに討議が

行われました。式典の最後には、「たっごにんにく生産70周年に向けて」と題した生産者の決意書を出席者が唱和し、生産70周年に向けて、にんにくを通じた更なる地域活性化を誓いました。

みんなで鬼をやっつけろ！ おににおにパーティー

イー (※写真1)

2月2日、たつここども

園で節分行事「おににおにパーティー」が行われました。

おににおにパーティーでは、クイズを通して楽しく節分を学んだ後、みんなのこころの中にどんな悪い鬼がいるか発表しました。園児からは、「おこりんぼう鬼」や「お野菜食べない鬼」などの発表があった後、節分の歌「豆まき」を園児全員で歌いました。そこへ突然やってきた鬼に向かって、園児らは、「鬼はそと、福はうち」と元気に声を発しながら、鬼にむかって豆まきをしました。中には泣き出す子もいる中、果敢に鬼に向かう姿を見せ、みごと退散させることに成功しました。

また、節分にちなんだ給食を好き嫌いなく食べ、鬼に負けない体づくりをしました。

田子バレー男子ジュニアが八戸ライオンズクラブ杯優勝を報告

(※写真2)

町内の小学生で構成する

田子バレーボールクラブ男子ジュニアチームが、2月

4日に八戸市で開催された第1回八戸ライオンズクラブ杯小学生バレーボール大会で優勝しました。

2月8日、チームに所属する小学生9名と関係者が

役場を訪れ、山本晴美町長に大会での優勝を報告しました。報告を受けた山本町

長は、お祝いの言葉とともに更なる活躍に期待を寄せました。

このチームに所属する小学6学年の児童にとって、

この大会が小学生最後の大会であり、児童たちは「最後の大会で優勝できてうれしい」と感想を述べていました。

チームのキャプテンを務める大坊祐久くん(田子小

6)は「優勝が決まった時

は今までにないくらい一番うれしかった。中学生になってもバレーボールで良い成績を残せるように、これからも練習を頑張りたいです」と語りました。

2月10日、創遊村229

スキーランドでスノーフェスタ実行委員会(釜淵清嗣委員長)主催によるスノーフェスタ2024が開催されました。スノーボードとスキーの滑走技術を競うテクニカルコンテストや雪山宝探し、雪灯籠づくりなど、子どもから大人まで楽しめるイベントが行われ、県内外から多くの方が229スキーランドに足を運び、にぎわいを見せていました。

冬を楽しもう！スノーフェスタ2024

(※写真3)

2月10日、創遊村229

スキーランドでスノーフェスタ実行委員会(釜淵清嗣委員長)主催によるスノー

フェスタ2024が開催されました。スノーボードと

スキーの滑走技術を競うテクニカルコンテストや雪山

宝探し、雪灯籠づくりなど、

子どもから大人まで楽しめるイベントが行われ、県内

外から多くの方が229スキーランドに足を運び、にぎわいを見せていました。

テクニカルコンテストに

は、8歳から70歳までの43名が出場しました。年齢別の部門に分かれて、一人ず

は、8歳から70歳までの43名が出場しました。年齢別の部門に分かれて、一人ず



(写真2) 優勝を報告した選手と関係者の皆さん



(写真1) 鬼に果敢に立ち向かう園児たち



(写真3) 雪山宝探しの様子

つゲレンデを滑走し審査員が採点を行いました。表彰式では入賞者に田子牛焼き肉用の詰め合わせが贈られました。

雪山宝探しや雪灯籠づくりには、多くの子どもたちが参加していました。雪の上を走り回ったり、雪を固めて雪灯籠を作ったり、思う存分雪と触れ合っていました。

また、隣接する229ドームには屋台村が特設され、温かい食べ物で来場者を迎えました。

夕方になると、スキーセンター前に作られた雪灯籠に一齐に灯りがともると、来場者は記念撮影をするなどして楽しんでいました。午後6時には、冬の夜空に火花が打ち上げられ、来場者は冬ならではのイベントを満喫していました。

田子町文化賞・スポーツ賞表彰

(※写真4・5)

2月15日、中央公民館ホールで、令和5年田子町文化賞・スポーツ賞表彰式が行われました。文化賞部門は10個人、スポーツ賞部門は21個人4団体が受賞しました。

〔文化賞部門〕

◎文化賞（個人）

- 日澤実花（三農恵拓高3）
- 森崎祐世（三農恵拓高3）
- 平山昊也（名久井農高1）
- 大坊隆司（名久井農高2）
- ◎文化奨励賞（個人）
- 坂本優稀（名久井農高3）
- 畠山楓喜（名久井農高3）
- 山市海羽音

- （名久井農高3）
- 山本一愛（ウルスラ高3）
- 池田優妃（八戸北高1）
- ◎児童・生徒文化奨励賞
- （個人）
- 高橋彩乃（田子中3）

〔スポーツ賞部門〕

◎スポーツ大賞（個人）

- 山市大悟（相撲協会）
- 新井田未徠

（三農恵拓高2）

中村悠真（三農恵拓高2）

◎スポーツ賞（個人）

篠田隆典（野球協会）

◎スポーツ賞（団体）

田子町相撲協会

◎スポーツ奨励賞（個人）

- 新井田哩来（田子中3）
- 新井田有成（田子中1）
- 岡山叶那太（田子中1）
- 内沢凜音（三戸中1）
- 櫻場充也（229スキーランドアカデミー）
- 岩間翔汰（229スキーランドアカデミー）
- 袖村風花（229スキーランドアカデミー）
- 上沢乃々奏（229スキーランドアカデミー）
- 新井田心路（相撲協会）
- 野端祐利（相撲協会）
- 松橋綺羅（相撲協会）
- 松橋颯愛羅（相撲協会）
- 新井田紘成（相撲協会）
- 中山澁麻（相撲協会）
- 松橋桜母愛（相撲協会）
- 川下瑤平（八戸市選抜）
- 山田健心（八戸市選抜）

◎スポーツ奨励賞（団体）

- 田子町相撲協会女子団体
- 田子町相撲協会田子小学



(写真4)文化賞受賞者の皆さん



(写真5)スポーツ賞受賞者の皆さん

校相撲部
田子中学校男子バレーボール部

しあわせのまちづくり 結婚祝い金贈呈式

(※写真6)

2月25日、文化観光交流施設みろく館で「田子町しあわせのまちづくり結婚祝い金贈呈式」が行われました。

この事業は、若者世代の夫婦が婚姻から継続して1年以上田子町に居住するなどの条件を満たした場合に、夫婦に結婚祝い金を支給するものです。

山本町長は「これからも田子町で末永く幸せに暮らしていただきたい」と述べ、祝い金を手渡しました。対象となったご夫婦は「祝い金は、家で飼っている犬のものを買ったり、親が亡くなったので家の片付けなどに使いたい。現在もいい形で幸せに暮らしているので、これを継続しながら、自分

たちにできることがあれば

町に協力していきたい」と話していました。今年度業開始から69組目、今年度5組目の贈呈となります。

今回対象となったご夫婦は次のとおりです。

▽釜淵嘉嗣・友紀子夫妻

(七日市)

敬老祝い金贈呈式

(※写真7)

2月15日、澤頭みささん(干草場)の満100歳をお祝いするため、役場公室で敬老祝い金贈呈式が行われました。贈呈式には、本人の代理でご子息が出席され、山本町長からお祝いの言葉と花束が贈られました。澤頭さんは、大正12年2月に三戸郡猿辺村(現三戸町)でお生まれになりました。現在は老健たつこで穏やかに過ごされています。

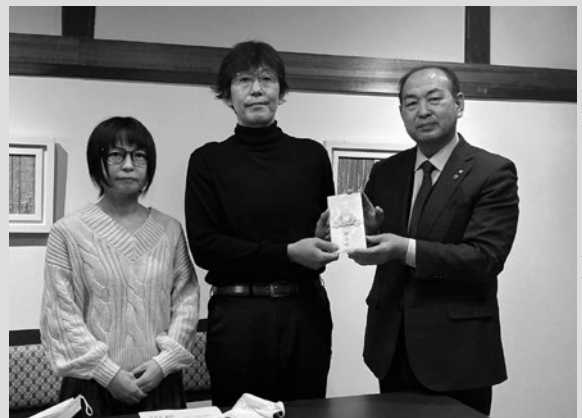
また、2月28日には、菊地ツキさん(道前)の満100歳をお祝いのため、老健たつこで敬老祝い金贈呈

式が行われ、ご家族や施設の職員、ご友人と一緒に長寿をお祝いしました。山本町長は「この先も元気に暮らしていただきたい。来年、再来年もまたお祝いできるのを楽しみにしています」とお祝いの言葉を述べました。

菊地さんは、大正13年2月に二戸市斗米村(現二戸市)でお生まれになりました。現在は老健たつこで穏やかに過ごされています。

菊地さんは、食事は好き嫌がなく何でも食べられることが長寿の秘訣だと元気にお話ししていました。贈呈式の最後には、菊地さんから感謝のことが述べられ、菊地さんの人柄が感じられる感動的な贈呈式となりました。施設の職員がこの日のために準備した衣装で着飾った菊地さんは、終始にこやかでした。

現在、田子町で100歳以上の方は、澤頭さんと菊地さんを含めて7名いらっしゃいます。



(写真6) 対象となったご夫婦



(写真7) 満100歳を迎えられた菊地さん(中央)

令和6年度水道料金納入についてのお知らせ

令和6年度水道料金の口座振替日及び納入期限について、下表のとおりお知らせしますので、期限内に納入していただくようご協力をお願いします。

令和6年度	口座振替日	納入期限
4-5月分	6月17日	7月29日
6-7月分	8月15日	9月27日
8-9月分	10月15日	11月27日
10-11月分	12月16日	1月27日
12-1月分	2月17日	3月27日
2-3月分 ※1	3月25日	4月28日

※1：2-3月分の口座振替については、振替日を3月25日としており、他の振替日とは異なりますのでご注意ください。

問 役場建設課水道グループ ☎ 20-7118

就学援助制度について

町教育委員会では、小・中学校の児童生徒をもち、経済的に困りの家庭を対象に、学用品費など、就学に必要な費用の一部を助成する就学援助を行っております。



認定にあたっては、課税・所得の状況、家庭の事情等を審査し、必要に応じて民生委員の方から状況を伺うこととなります。4月認定の申請案内は、既に各保護者に通知しておりますが、申請は年度途中でも可能です。希望される場合は、在籍する学校にお問い合わせください。

就学援助制度の詳細については、児童生徒が在学する小・中学校、または田子町教育委員会にお問い合わせください。

問 田子町教育委員会教育課学務グループ（田中）
☎ 20-7072

「環境美化の日」 町民一斉クリーンアップ作戦について

町民一斉クリーンアップ作戦は、田子町美しいまちづくり条例で「環境美化の日」に定められている、毎年4月第3日曜日に実施しています。

今年は**4月21日（日）**が実施日となります。詳細等については、全戸配布したチラシをご覧ください。

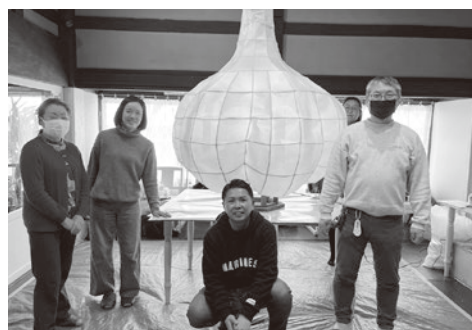
問 役場住民課住民環境グループ（大橋）
☎ 20-7113



◆にんにくねぶたが完成しました！

地域おこし協力隊の五十嵐です。

昨年来より動いておりましたにんにくねぶた。今から20年ほど前に地域のお祭りで使われていたねぶたですが、皆様のご協力のもと紙張り作業が終わり、にんにくらしく見えるところまで完成いたしました。墨絵をいれるか・土台をどうするかなどの課題はありますが、ポロポロな状態だったものから少しでもきれいな状態にすることができてうれしい限りです。お手伝いいただいたみなさま、ありがとうございました。今後町内のどこかに飾られると思いますので、ぜひ見かけたら写真など撮ってみてください。



◆大盛況！第17回たっこにんにくまつり！

こんにちは！地域おこし協力隊の木村治樹です。

2月24日「たっこにんにくまつり」が開催されましたね。去年と違い、今回は快晴の中、去年を上回る大盛況ぶり。会場所狭しと、たくさんの方の笑顔と楽しそうな会話があふれておりました。私の販売したパンもたくさんの方にご購入いただき完売となりました。一緒に田子町を盛り上げてくれる「ガーリックレディ」の選考会や、どのお料理も非常に美味しく5年ぶりの開催となった「NINNIKU 料理オンリー1グランプリ」は大変白熱しておりました！お隣のみろく館では、ついに、にんにくねぶたが完成しました。

たった数時間でいろんな催しが成し遂げられた一日。田子町のパワーを改めて再確認できた日。スタッフの皆様本当にお疲れ様でした。



令和6年度 春の狂犬病予防注射実施スケジュール

月日	対象地域	実施場所	実施時間	月日	対象地域	実施場所	実施時間
5月13日(月)	細野	細野地区研修センター	9:20~9:35	5月15日(水)	野月	野月生活館	9:20~9:25
	宮野	蒼前神社前	9:40~9:55		矢田郎	矢田郎地区 コミュニティ消防センター	9:30~9:45
	明土平	明土平バス停付近	10:00~10:05		新井田	新井田バス停付近	10:00~10:05
	上相米	相米へき地保健福祉館	10:10~10:25		向山	向山バス停付近	10:10~10:15
	柴倉	柴倉バス停付近	10:30~10:35		上ノ平	上ノ平生活館	10:25~10:35
	根渡	蔵王神社前バス停付近	10:40~10:45		西館野	西館野バス停付近	10:40~10:45
	甲地	甲地バス停付近	10:50~10:55		長坂	長坂バス停付近	10:50~11:00
	風張	田子町商工会館前	11:10~11:20		干草場	干草場生活館	11:05~11:10
	上野	上野阿弥陀堂前	13:05~13:15		衣更	衣更地区集落センター※R6変更	13:10~13:15
	日ノ沢	富士産業前バス停付近	13:20~13:25		雀ヶ平	雀ヶ平生活館	13:25~13:35
	下田子・塚ノ上ミ	下田子生活館	13:35~13:45		野面	野面バス停付近	13:40~13:45
	舞手	舞手バス停付近	13:50~13:55		極ノ実	山沢左官前	13:50~13:55
	サンモール・中下本町	農業者トレーニングセンター	14:00~14:15		長沢	長沢バス停付近	14:00~14:05
	5月14日(火)	種子	種子橋付近		9:30~9:35	飯豊	飯豊生活館
川向		川向橋付近	9:40~9:45	原	原交流センター	14:25~14:30	
堅田		堅田中央付近	9:55~10:00	夏坂	夏坂へき地保健福祉館	9:25~9:30	
池振・野畦沢		池振バス停付近	10:10~10:20	関	関所橋付近	10:00~10:05	
野々上		旧野々上住宅入口付近	10:25~10:35	山口	山口生活館	10:10~10:15	
南側・北側		親水公園前	10:45~11:00	嘉沢	嘉沢地区集落センター	10:20~10:25	
七日市		七日市交差点付近	11:05~11:15	道前	上郷公民館	10:30~10:40	
大王		大王橋付近	13:10~13:15	茂市	茂市地区担い手センター	10:45~10:55	
川代		川代バス停付近	13:20~13:30	道地・石亀・杉本	石亀地区研修センター	11:00~11:10	
椋山		県道椋山橋付近	13:45~13:50	新田	新田地区活性化センター	13:30~13:40	
袖平		袖平生活館	14:05~14:15	遠瀬	遠瀬生活館	13:45~13:55	
清水頭		清水頭地区総合研修センター	14:20~14:30	水亦	すずらん館	14:10~14:20	

※犬は、年1回必ず狂犬病予防注射を受けなければなりません。

予防注射手数料 3,300円 新規登録手数料 3,000円 (生涯1回)

※死亡した犬がいる場合は、速やかに届出してください。

※なるべくおつりのないようお願いいたします。

問 役場住民課住民環境グループ
(大橋) ☎ 20-7113



〔仮称〕三戸風力発電事業環境影響評価方法書の縦覧及び説明会開催のお知らせ

「〔仮称〕三戸風力発電事業」について、環境影響評価の調査、予測及び評価の手法をとりまとめた「環境影響評価方法書」を以下のとおり縦覧するとともに、説明会を開催いたします。

▼事業名称 〔仮称〕三戸風力発電事業 ▼事業者 日本風力エネルギー株式会社 ▼事業の種類 陸上風力発電 ▼対象事業実施区域 三戸郡三戸町及び新郷村 ▼縦覧場所 田子町役場2F 談話室 ▼インターネットによる公表 <https://venaenergy.co.jp/5049> ▼縦覧期間 3月

29日(金)～4月30日(火) 縦覧場所の開庁時間内 ▼意見書受付期間 3月29日(金)～5月14日(火)

※環境の保全の見地からのご意見をお持ちの方は、書面に住所・氏名・意見(意見の理由を含む)をご記入のうえ、意見書受付期間終了日まで、縦覧場所に備え付けの意見書箱にご投函いただくか、下記の問い合わせ先へご郵送ください(当日消印有効)。

▼説明会(開催日時、会場)

4月12日(金) 18時30分～ 田子町中央公民館

問 日本風力エネルギー株式会社(担当:アクセル、矢島)
〒105-0001東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステ
ーヂタワー17階 ☎ 03-6452-9777

令和6年度田子町運転免許自主返納者支援事業のお知らせ

▼運転免許自主返納の手続き

三戸警察署の運転免許窓口で手続きができます。本人のみしか手続きができません。有効期限外、停止中、処分による取り消しの基準にある方は手続きできません。※詳細は、三戸警察署へお問い合わせください。

▼支援の内容

高齢者等による交通事故防止のため、運転免許を自主返納した場合に、田子町商工会が発行する地域振興商品券10,000円相当または、(協)田子スタンプ会のご協力により1,000円分を上乗せした田子スタンプ会商品券11,000円相当を1回限り差し上げます。

▼対象となる方

- ◎運転免許返納日並びに申請日において、田子町内の住所で住民登録があり、かつ、居住の実態がある方。
- ◎運転免許返納日が令和5年10月1日以降であること。
- ◎運転免許の失効者でない方。

▼申請に必要なもの

- ①運転免許の取消通知書(公安委員会交付)
- ②個人番号がわかる書類(マイナンバーカード・通知カード等)



※原則として申請期限は返納してから6カ月以内です。

▼問い合わせ先・申請先

役場住民課住民環境グループ(大橋) ☎20-7113
三戸警察署 ☎22-1135

おいしく減塩! 「塩分ほぼゼロ野菜レシピ」

キャベツの ドレッシング炒め

材料(2人分)

- キャベツ 150g
- 酢 小さじ3
- オリーブオイル 小さじ2
- 塩 2本指でひとつまみ
- 黒こしょう 適量

作り方

- ① キャベツはざくざくと切る。
- ② フライパンにオリーブオイルを中火で熱し、キャベツをさっと炒める。
- ③ 塩・黒こしょうで調味し、酢をまわしかけたらできあがり。

★酢のさわやかな酸味が効いたフレンチドレッシング味の減塩ソテーです。

(地域包括支援課栄養士 本木)



松やナラ類の枯れ木を見かけたらお知らせください

松くい虫被害とは、マツノマダラカミキリという昆虫によって運ばれるマツノザイセンチュウという小さな線虫がマツの木に侵入することによってクロマツやアカマツが枯れるマツの伝染病です。県内では深浦町において継続して被害が発生しています。令和5年度には、岩手県二戸市で被害が発生しています。



また、ナラ枯れ被害は、カシノナガキクイムシという昆虫が運ぶナラ菌によってミズナラやカシワなどのナラ類が枯れる伝染病で、県内では深浦町をはじめとする6市町村に加えて、令和5年度には新たに青森市、平内町で被害が確認され被害の拡大が懸念されています。

これらの被害が、県内各地で発生するようになると、農林水産業をはじめとする産業・経済のほか、本県が誇る自然景観などに大きな影響を与えます。

このため、以下の3点について住民の皆様のご協力をお願いします。

- ①マツノマダラカミキリとカシノナガキクイムシは、それぞれマツとナラ類を伐採した際に発生する臭い集まる習性があるため、これらの昆虫の活動期(6~9月)には、マツとナラ類を伐採しないようにしましょう。
- ②マツ丸太やマツ苗木、ナラ丸太を被害地から持ち込むと、松くい虫被害やナラ枯れ被害を呼び込む可能性があるため、県内の未被害地のものを利用しましょう。
- ③松くい虫被害やナラ枯れ被害を防ぐためには、葉が黄色に変色したり、枯れたマツやナラ類を早い段階で取り除く事が大切です。自宅の庭木や街路樹、山林など、身の回りで枯れている、または枯れかかって根元に大量のフラス(木くず)が溜まっているなどのマツやナラ類を見つけたら、役場産業振興課、三八地域県民局林業振興課、森林組合までお知らせください。

被害の拡大を防ぐためには、被害の早期発見と適切な駆除が重要となります。

大切な森林資源を次の世代へ引き継ぐため、御協力をお願いします。

問 役場産業振興課 ☎32-3111 (代表)

問 三八地域県民局林業振興課

☎0178-27-5111 (代表)

問 三八地方森林組合田子分室 ☎23-0285

●広報たっこでは、皆様からの情報提供をお待ちしています。紙面に掲載可能な行事などありましたら、下記までご連絡ください。 役場政策推進課 ☎20-7127

■行事等に関するお問い合わせは、田子町中央公民館 (☎20-7070 担当：山本)
または上郷公民館 (☎33-1811) までお願いします。

令和6年度行事予定

●5月

▽5月～10月 (全4回)

健康ウォーク

4月下旬

7月中旬

8月下旬

10月中旬



▽5月下旬～10月

田子神楽養成講座

小学生から高校生まで
を対象に参加者を募集
します



●6月

▽8日 (土)～9日 (日)

三戸郡総合体育大会



●7月

▽7月下旬または8月上旬

キャンピングワールド2024



▽7月中旬～下旬

第77回市町村対抗青森県民体育大会

●8月

▽5日 (月)～7日 (水)

水泳教室

小学4年生から6年生を対象
に行います



●9月

▽1日 (日)

第32回青森県民駅伝競走
大会 (青森市)



▽8日 (日)

第70回田子町民
大運動会



●10月

▽26日 (土)、27日 (日)

田子ひとくるめや文化祭



●12月

▽1日 (日)

生涯学習町民研修会

●1月

▽9日 (木)

第51回新春書き初め大会
子どもから大人まで参加
可能です



▽12日 (日)

令和7年田子町
二十歳を祝う会

対象 平成16
年4月2日から
平成17年4月
1日生まれの方



●2月

▽2日 (日)

芸能発表会

▽15日 (土)

令和6年田子町文化賞・スポーツ賞表彰式

※上記については3月1日時点の予定であり、変更
になる場合があります。

図書館情報

もうすぐ春です。
「心」と「体」を整えましょう！

●「心と体を整える」特集

春は何かと忙しい季節です。卒業式、入学式、引越し、就職、人事異動など他の季節よりもストレスの多いことがあります。そして、三寒四温の温度の変化も自律神経の動きに影響するようです。今回は「心」と「体」を整えるために、役立つ本を集めて展示・貸出します。どうぞご利用ください。

- あなたはあなたなりに生きれば良い。
- 「誰かのため」に生きすぎない
- 今日も一歩も外に出なかったけどいい一日だった
- 心も体もとのう漢方の暮らし365日
- 86歳の健康暮らし／田村セツコ
- 病気の9割は歩くだけで治る！
- 1日1杯血液おそうじスープ
- 病気にならない食う寝る養生



●楽しみながら本を読もう！「春の読書スタンプラリー」

- ▼期間 4/20(土)～6/9(日)
- ▼対象 すべての図書館利用者
- ▼内容 期間中に図書館の本を1冊借りると、台紙にスタンプを1つ押します。スタンプを30個集めると、その場で粗品をプレゼントします。

●古雑誌・古本お持ち帰りコーナー

- ▼期間 4/20(土)～本がなくなり次第終了
- ▼対象 貸出券をお持ちの中学生以上の方
- ▼内容 図書館で受け入れて1年以上経過した雑誌、除籍した古本などを決められた冊数だけ差し上げます。

図書館おやすみカレンダー

2024							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6						
7	8	9	10	11	12	13							
14	15	16	17	18	19	20							
21	22	23	24	25	26	27							
28	29	30											

▼色の濃い日が休館日です。

田子町立図書館(担当:川村)
☎20-7221

図書館の開館時間

水～土 午前10時～午後6時
日曜日 午前10時～午後4時

4月の図書館行事

- ▼4/3(水) 午前10時
ブックスタート／せせらぎの郷
- ▼4/17(水) 午前10時
セカンドブック／せせらぎの郷
- ▼4/20(土)～6/9(日)
春の読書スタンプラリー
- ▼4/20(土)～
古雑誌・古本お持ち帰りコーナー

図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日
(館内整理日)

新刊案内

●暮らし、料理

- ▽暮らしのおへそ37／590ク
- ▽60代からの小さくて明るい暮らし／590口
- ▽農家が教えるよもぎづくし／617ノ

●歴史・時代小説

- ▽恋風／仕立屋お竜5／岡本さとる／913オ
- ▽小梅のつつめ灸2／金子成人／913カ
- ▽用心棒稼業／芋洗河岸2／佐伯泰英／913サ
- ▽お勝手のあん1／柴田よしき／913シ
- ▽お勝手のあん2／柴田よしき／913シ
- ▽五重塔の骸／口入屋用心棒51／鈴木英治／913ス
- ▽夜露がたり／砂原浩太郎／913ス

●ミステリー・警察小説など

- ▽夜明けの花園／恩田陸／913オ
- ▽悪魔の審判／神永学／913カ
- ▽名探偵のままでいて／小西マサテル／913コ
- ▽彷徨う者たち／中山七里／913ナ
- ▽有罪、とAは告げた／中山七里／913ナ
- ▽ブラック・ショーマンと覚醒する女たち／東野圭吾／913ヒ
- ▽県警の守護神／水村舟／913ミ

●そのほかの小説など

- ▽青い壺／有吉佐和子／913ア
- ▽死んでしまえば最愛の人／小川有里／913オ
- ▽うたう／小野寺史宜／913オ
- ▽冬に子供が生まれる／佐藤正午／913サ
- ▽成瀬は信じた道をいく／宮島未奈／913ミ
- ▽おむすび縁結び／食堂のおばちゃん15／山口恵以子／913ヤ
- ▽とり天で喝！／ゆうれい居酒屋4／山口恵以子／913ヤ

●エッセイ、手記など

- ▽こんまり流今よりもっと人生がときめく77のヒント／近藤麻理恵／159コ
- ▽どう生きるかつらかったときの話をしよう／野口聡一／159ノ
- ▽老いの上機嫌／樋口恵子／367ヒ
- ▽ふたつの時間、ふたりの自分／柚月裕子／914ユ

■警察署コーナー



●新入学児童に手本を示しましょう

新入学児童を持つご家族の方は、通学路や自宅周辺に危険な箇所がないか確認しましょう。そして、安全な歩行方法が身につくように、実際にこどもと一緒に通学路を歩き、手本を示しましょう。

▼こどもの交通事故防止5つのポイント

- (1)「飛び出し」の防止をしっかり指導しましょう。
- こどもは、一つのことには注意が向くと周囲のことが目に入りません。
- (2)「しっかりと」見るこの意味、大切さをこどもの目の高さで指導しましょう。

こどもに見える道路の様子

■消防署コーナー



春の火災予防運動が、4月8日(月)から4月14日(日)までの1週間、『火を消して 不安を消して つなぐ未来』を統一標語に県下一斉に実施されます。

これからの季節は空気が乾燥し、山火事や枯草火災が発生しやすくなります。たき火やたばこの投げ捨て、子どもの火遊びなど、小さな火からでも燃え広がります。

は大人とは違います。
(3)通学(園)路を実際に見て確認し、安全な横断の仕方を指導しましょう。

こどもは自分の位置と危険との関係の認識が未熟で直感的、感覚的に行動します。

(4)信号が青でも右左折車などが来ることを理解させ、常に左右の安全を確認するように指導しましょう。

こどもは「青信号は安全だ」と思い込む傾向にあります。(5)注意するときの「声かけ」は具体的に分かりやすくしましょう。

こどもは抽象的な言葉だけでは危険を理解することができません。

▼三戸警察署田子警察官駐在所 ☎32-3109

また、全国各地において火災の発生しやすい気象状況が続く、住宅火災が多発しています。尊い命を守るため、ご家族はもちろん地域一丸となり、火の取扱いには十分に注意し、火災を未然に防ぎましょう。

▼三戸消防署 田子分署 ☎32-3104

■住宅防火 いのちを守る 10のポイント

▽4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

▽6つの対策

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。



町の人口

令和6年2月29日現在

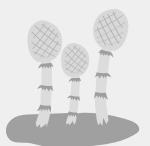
世帯数/2056 (+3)
人口/4809 (-3)
男/2316 (-4)
女/2493 (+1)
()内は前月比です

誕生

●大村想来(悠樹・与美)/衣更
※()内はご両親、“/”のあとは行政区です

お悔やみ

- 馬場 清(91歳)西館野
 - 川下由太郎(95歳)七日市
 - 宇藤つせ(97歳)上風張
 - 風張良輔(86歳)新田
- ※()内は享年、()のあとは行政区です



4月の主な保健・介護予防事業予定表

2 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30	17 (水) こども健診 (せせらぎの郷) 午前9:30~正午
3 (水) 乳児健診 (せせらぎの郷) 午前10:00~正午	19 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00~午後2:30
5 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00~午後2:30	23 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30
9 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30	24 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:30~正午
10 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:30~正午	26 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00~午後2:30
12 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00~午後2:30	30 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30
16 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30	

心の相談窓口

役場地域包括支援課 ☎20-7100

学校の話 田子中学校

●保護者・地域の方の協力あつての田子中学校

前回お伝えしました、生徒会スローガン「田子魂、革新」。

田子中学校は今年1年、例年よりもグレードアップした様々な取り組みをしてきました。①地域の

諸団体の協力を得ての「輝く笑顔推進キャンペーン」県下一斉あいさつ運動への参加 ②地域住民との貴重な時間を共有した

「他人を思いやり命を大切に」する心を育む対話集会」の実施 ③保護者の方の協力を得ての「体育祭での全校女子生徒が浴衣着用によるナニヤドヤラ」披露 ④保存会の協力を得ての「文化祭でのナニヤドヤラサイン節」披露 ⑤保存会の協力を得ての「県中学校総合文化祭での田子神楽」披露 ⑥町スキー協会の協力を得ての「スキー講習会」の実施 などなど。「生徒のための学校」そして「地域の学校」を念頭に、これまで田子町に脈々と受け継がれてきた伝統を引き継ぐこと、また地域素材の有効活用を考えて計画してきたこれらの取り組みも、保護者・地域の



方々・関係諸団体の協力を得て、すべての取り組みを成功裏に終えることができました。お陰様で、生徒はこれらの経験を通して、心も体も成長したように思います。また、田子町の良さや地域力を身をもって感じている様子がうかがえます。3月には、32名の生徒が巣立っていき、この田子中学校で経験した様々なことを胸にそれぞれの場所で活躍してくれることと思います。これまで協力してくださった保護者の皆様、各関係団体の方々に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、4月には30余名の新生を迎え、新しい田子中学校が始まります。これから田子中学校は「生徒のために」として「地域の学校」としての役割を担うべく活動していきます。今後ともご協力お願いいたします。1年間ありがとうございました。

(原稿・画像提供 田子中学校)

俳句

すみれ咲き田の神山の神となる

やなた翠芳(孝芳)

春愁や仏もなざる泣き笑い

森きよし(清)

長閑さや句帳片手にとり村

川村キエ

家中と清めて香る蠟梅花

山本一枝子

初ものに声かけて摘む露の臺

中村磨也(忠亮)

青空にとけこむ高き鳥帰る

原秋月(菊次郎)

タプコピアン文芸

みろく吟社 (会長 築田孝芳)

みろく吟社では会員を募集しています。俳句に興味のある方は、築田(☎090-2605-1974)までご連絡ください。

これまで約25年間にわたり連載していただいた「ほのぼのじいさん」は、今月号をもって終了となります。JUNKOさん、長い間本当にありがとうございました。次月号からは新たな4コマ漫画「なかよし」の連載を開始します。ご期待ください！



ようこそ田子町へ!

第23代国際交流推進員 ミランダ・ジャニッシュさん

3月1日、アメリカ・ギルロイ市よりミランダ・ジャニッシュさんが国際交流推進員として着任しました。町内で生活しながら、ギルロイ市と田子町の国際交流の懸け橋として活動してまいります。町内で見かけたら気さくにお声掛けください!

私はミランダ・ジャニッシュです。24歳です。カリフォルニア州ギルロイで生まれ育ちました。趣味はハイキング、旅行、釣り、音楽です。

私の家族は私が高校生の頃から、ホストファミリーとして田子町の生徒や町民の皆さんを受け入れてきました。多くの友情、訪問、そして今この国際交流推進員としての仕事につながっています。

私は田子町と日本のさまざまな地域を探索することを楽しみにしています。田子町にいる間、私はソーシャルメディアを通じてギルロイの人々と私の経験を共有するつもりです。私は田子町の美しさ与人々を紹介したいです。私の発信を通じて多くの人々が田子町を訪れることにつながることを願っています。

ギルロイの人々は、私たちの友情を強化することをとても幸せに思いワクワクしています。皆さんと知り合いになるのが待ちきれません。田子町に来ることができとても幸せです。よろしくお願ひします!



はじめてのハッピーバースデー

令和5年3月に生まれた満1歳のお友だちです。



● とや 田中燈弥ちゃん
R5.3.23
(塚ノ上ミ・男の子)
燈弥お誕生日おめでとう! 笑顔がとっても素敵な燈弥。これからたくさん食べて遊んでねえねして大きくなあれ☆



知っておきたい

田子町の福祉・介護のお役立ち情報



ケアマネジャー(介護支援専門員)とは?

要介護1~5の介護認定を受けた方やその家族からの相談を受けて、適切な介護サービスが受けられるように、計画をたてたり、関係機関と連絡調整を行う専門職のことです。

主な仕事

介護サービス利用の相談、サービス事業所等との連絡調整等

できないこと

直接的な介護、施設申し込みの代行、病院受診の付き添い、送迎

	居宅介護支援センター みろくの郷	田子町社協指定 居宅介護支援事業所
人数	3名(男性1名・女性2名)	2名(女性2名)
場所	田子字七日市上ノ平 60 (特別養護老人ホーム みろく苑内)	田子字前田 2-1 (せせらぎの郷 2階)
電話	32-3699	32-4045

地域おこし協力隊
木村治樹隊員が取材!

町内でがんばる 若者を紹介します

田子町出身の長澤伸さん(48)は、三戸高校卒業後に北海道の専門学校でデザインを勉強し、その後は東京都の会社に就職され、経験を積まれたそうです。「きつい労働環境でしたが、仕事をこなす度に成長を感じられた」「今もそうですが、電車の吊り革広告などを見ては、自分ならどうするかと考える癖がついた」と忙しい当時は振り返られました。

その後、30歳で独立され「キンアカデザイン事務所」を設立。仕事の幅を広げていく中で、改めて田子町に戻って仕事を続ける決断をされました。「無理のないペースで仕事をしたいという実情もあった



が、地元に貢献したいという思いだったり、田子町の自然を本能的に求めている自分が強くなっていたかもしれない。自分の仕事を知ってもらうことで、田子町の子どもの選択肢を広げたい」と語られ、今では役場や地元の業者からの仕事を中心にされているとのこと。今後については「基本的に、問題を解決する手段としてあるのがデザインですが、田子町の持っている温かい個性を打ち出していきたい。町民に着目したフリーペーパーを作ってみるのも面白い」と明日を見据え、熱っぽく語られました。